



令和元年 9月3日(火)例会(第2762回)報告(曇)No.2590

出席率 31/38 81.58% 第2760回補正出席率 35/39 89.74%

欠席者 門永、酒井(博)、浜田(貴)、福嶋、堀田、松井、村山

メーカーアップ(理事会)12名

出席免除 足立、岡空、渡辺(昇)

◆会長時間 松本勝志 会長

持続可能なビジネスを考え、天然の魚(弊社では特に、カニ)ではなくて、養殖魚をイメージし、鮭加工を始めています。魚養殖の餌は植物性タンパクや動物性タンパクですが、餌の一部はやはり青物魚(鯖、鰯、秋刀魚など)です。現在、魚を1kg成長させるための餌の量は、鮭で約1.2kg、鮪では15kg。効率がいいのは圧倒的にチキンだそうです。餌になる魚も限界があるでしょう。代替として、海外では虫を餌にする研究をしているそうです。その虫を飼育するための餌は?

◆幹事報告 市場和志 幹事

◎古瀬G事務所より「地区大会表彰のお伺い」「ハワイ国際大会Q&A」「コーディネーターNWES9月号」 ◎地区R財団事務所より「財団室ニュース9月号」 ◎米子RCより「5RC野球リーグ後半戦日程の案内」 ◎米山梅吉記念館より「館報2019秋号」「賛助会のお願い」 ◎商議所女性会より「チャリティーゴルフ大会ご案内」 ◎青少年育成市民会議より「高校生マナーアップさわやか運動ご案内」 ◎県臓器・アイバンクより「賛助会のお願い」 ◎県人権局より「拉致問題の早期解決を願う集いご案内」 ◎9月Rレート1\$=106円 ◎本日、9月定例理事会

◆例会変更(受付=ビジター受付、定刻・ANAクラウン米子)

☆米子東RC 9/11(水) 休会(定款) ビジター受付無
 ☆米子南RC 9/16(月) 休会(祝日) ビジター受付無
 ☆米子中央RC 9/19(木) 休会(定款) ビジター受付無
 ☆米子RC 9/20(金) 夜間例会 ビジター受付あり

9月結婚記念日祝い 11日 村山尚史 会員

9月誕生日祝い

2日 三輪昌輝

25日 小板勇次 各会員



三輪会員 小板会員

◆9月行事予定(基本的教育と識字率向上月間)

- 9/17(火) 休会(定款8条)
- 23(月) 第2 G親睦ゴルフ大会(大山平原GC)
松江しんじ湖RC創立25周年記念式典(ホテル一畠)
- 24(火) 休会(定款8条)

—スマイルBOX—

◎誕生祝 小板、三輪、谷田 ◎創立祝 岡田 ◎卓話をします。よろしく! 北國 ◎北國さんの卓話、楽しみです。川田、瀬戸、松本(勝)、三輪 ◎北國祭り、楽しみにしています! 定秀、浜田(一) ◎今年度の地区補助金がようやく承認されて庄司 ◎今日はトランプマジックをします 市場 ◎野球メンバーの皆様、お疲れ様でした。赫 ◎大曲の花火大会に行きました。2度目はありません。木村 ◎スマイルに協力 内田、喜多村

今回(9月10日)プログラム
フォーラム「各委員会の状況について」
瀬戸、内田、三輪 各委員長

次回(9月17日/24日)休会(定款8条)のプログラム
「未定」
(担当:国際奉仕委員会)

北國恵久 会員



えびすとは、元々はよそ者、夷狄、蛮族の意味で「蛮」「戎」「夷」「狄」「辺」は全て「えびす」と発音します。また、えびすさんは、神様の名前という「固有名詞」ではなく「普通名詞」です。室町期に成立した「七福神信仰」の中で我が国唯一の神として、古来海の彼方より幸せをもたらす「福の神」として信じられるようになりました。えびす神として祀られている神は、ヒルコ神(西宮神社)と事代主神(美保神社、今宮戎神社)、この三社がえびすの総本宮です。

美保神社には江戸時代北前船で賑わっていた頃に船主達から奉納された楽器が846点もあり、国の重要有形民俗文化財に指定されています。ここにスポットを当て「音楽の神様」のコンセプトで企画したのが「恵美須音曲祭」で、平成4年に江戸文化の華、新内家元の富士松鶴千代師をお招き開催したのがはじまりです。

新天皇陛下がご即位された本年、ご即位奉祝の記念として久しぶりに音曲祭を開催します。音曲祭に選んだのは、ヴァイオリン、篠笛、津軽三味線、鼓を4人で奏でる『竜馬四重奏』。美保神社という非日常の空間の中で祝意の気持ちで、神様と共に直会(おらい)、皆で演奏を楽しみたいと企画しました。

美保神社の青柴垣神事は、古事記の国譲り神話を再現した神事で、祭事の中に天皇の即位式の要素を模したものが多くみられます。また諸手船神事は、大国主神が美保関におられた事代主神に国譲りの相談の使い神を船で送られた故事に由来する神事です。私たちは、ご即位をされたこの記念すべき年に、この例大祭の「意義と形」を皆様に紹介したいと思いました。統一された日本ができた創世記の象徴的な合併の話が、この国譲りの神話です。国譲りは、征服ではなく「譲る・譲られる」という、いかにも日本文化らしい物語です。譲る方も譲られる方も民に身分の違いはないという契約なのです。これは日本の精神文化の最も素晴らしいところで、私達の最も誇りにすべきことだと思います。